

諸室区分	A 多目的ホール	
室名	A-1 多目的ホール	
定員・規模	規模：約 8,000 m ² （ホワイエと合わせて10,000m ² 以上）	
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> 国際会議などの大規模な会議や床荷重の少ない展示会・商談会、集会・講演会のほかレセプションなど多目的に利用可能なホールとして整備すること。 	
主な利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 大規模会議：3,000人規模の国際・国内会議における全体会議会場及び分科会 展示会・商談会：床荷重の少ない展示会・商談会・即売会 集会・講演会：企業ミーティングや団体等の全国大会（一括利用時）シアター形式で6,000席程度、スクール形式で4,000席程度 レセプション：正餐形式で4,000席程度、立食で8,000人程度。本格的なコンサート等は想定しないが、音楽を伴うアトラクション程度は開催できること。 	
性能	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ホールは、固定席を設置するのではなく多様な利用が可能となる平土間形式とすること。 壁の一部を開閉してホールとホワイエを一体利用できる構造とすること。 無柱空間とすること。 天井高は 10m 以上とし、ホール内で大型スクリーンを見ることができるようになること（一部低い部分があることを認める場合がある）。 会議室としての利用が可能となるよう、8分割が可能となるよう、操作簡易な可動間仕切りを設置すること。 分割した各部屋には、他の会議室を経由しないで廊下等から直接出入りできるようにすること。 分割した各部屋には、利用状況をモニターするための監視カメラを設置すること。 各部屋の壁面には、仮設機材のケーブル口を設けること。 ホールは、荷捌きスペースから搬入作業ができるようにすること（ホール内は搬出入車両の進入の必要なし）。
	床性能	<ul style="list-style-type: none"> 床は、国際会議などの大規模な会議、レセプションや展示イベント等に耐えうる仕上げとし、タイルカーペット仕様とする等メンテナンスのしやすさにも留意すること。 分割した各部屋には配線・配管ピットを確保し、各種配線・配管の取出しや点検や修繕が容易にできるようにすること。 床耐荷重は、展示物に対応できる水準として20kN/m²以上とすること。

	遮音・音響性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議や講演会の利用を前提とした残響時間とすること。 ・ 他室からの透過音は当室に聴こえないレベルまで、他室への透過音は電気拡声による大音量発生の場合に周辺で若干聴こえるレベルまで、それぞれ低減させること。 ・ 周辺住宅や 20 街区 M I C E 施設内で他室の利用に支障のないよう所要の遮音・音響性能を確保すること。 ・ 一般的な騒音については、敷地境界線上にて、関係法令に基づく基準値を遵守できるよう防音性および遮音性を保つこと。
設備	電気設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画する利用形態・規模を踏まえ、各室にイベント電源（多目的ホール全体で1,000kw程度）・コンセント及び音響・照明・映像・同時通訳装置の出入力設備を設置すること。 ・ コンセントの電気回路は分割した部屋毎とすること。 ・ 床面にもコンセントを適宜設置すること。 ・ 照明用電源の容量には充分配慮すること。 ・ 音響・照明・映像・同時通訳装置には別系統の電源を用意すること。 ・ 吊物機構用の電源も複数系統を用意すること。 ・ 照明用として、分割した部屋毎に 直回路：30A C 型×2 口、調光回路：20A C 型×6 口 を設けること。
	吊物機構設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部屋については、縦・横両方の利用パターンを想定すること。 ・ 各部屋の仮設舞台の設置が想定される箇所の天井部には、イベント時等を想定し幕類や看板用の美術バトン（最低でも 2 本・壁から 900mm セットバック）及び照明演出等が可能な照明用トラス、音響スピーカー用のトラスを設置し、全て電動昇降式とすること。 ・ 照明・音響用のトラスは耐荷重 1t/本以上とすること。 ・ 舞台の設置が想定される箇所の天井部には、吊点（耐荷重150kg/点）を必要箇所数設置すること。 ・ 吊点は、複数の部屋を一括利用する場合も想定し配置すること。 ・ 吊物用として、分割した部屋毎に 直回路：30A C 型×2 口、調光回路：20A C 型×12 口 を設けること。
	照明設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明設備の水準は、利用形態に応じた水準とすること。 ・ 特殊な催事の利用も想定し、主催者の照明機器の持ち込みにも対応できるようにすること。 ・ 点灯パターンを細かく設定可能なシステムとすること。 ・ 移動可能な簡易調光卓を各室に設置すること。 ・ 各室にフロア回路として DMX 入出力を 2 系統、吊物回路として DMX 出力を 2 系統用意すること。

	情報 通信 設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ CCTV システム、臨時電話回線（多目的ホールを分割した場合でも各室において 30 回線程度）を設置すること。 ・ インターカム等の設備を設置すること。 ・ LAN システム（有線、無線いずれも）を設置すること。アウトレットについては、分割した各部屋の壁面に設けるほか、配線ピットから容易に取り出せるようにすること。 ・ 既存施設と一体的に貸出ができる、カードキーによる入退室管理ができる設備とすること。 ・ 音響回線は分割した部屋ごとに LAN・アナログ各 2 回線とし、床面への埋め込みとすること。 		
	映像・ 音響 設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可動間仕切りのいずれの分割パターンでも利用できるよう、各室前方中央に映像用の大型スクリーン（縦横比が 3:4 で天井高に合ったサイズ）を設置すること。 ・ 国際会議や各種イベントに対し、十分に対応できる拡声、再生、録音性能を備えた音響設備を計画すること。 ・ 天井スピーカーを一括利用時・分割利用時のどちらでも対応できるように設置すること。 ・ 電波式のワイヤレスマイクが混信せずに利用できるようにすること。 ・ 特殊な催事の利用も想定し、主催者の映像・音響機器の持ち込みにも対応できるようにすること。 ・ CCTV システムとは別に、隣接会場間で映像・音声を容易に送受信できるようにすること。 ・ 国際会議の開催が可能となるようデジタル赤外線方式の同時通訳装置をホール内の全エリアで導入できる設備とし、分割しても各室で使用できるようにすること。施設の利用目的に照らし合わせ、常設で 8 か国語のデジタル赤外線方式同時通訳装置を利用できる仕様とすること。仮設備を設置する場合は、最大 32ch まで対応できる環境を整えること。 ・ プロジェクタを設置するための台が天井より降下してくるようにすること。なお、台には映像の接続端子・電源を設けること。 		
	給排水 衛生設 備計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ パーティー利用を考慮し、壁面内側にシンクを設けること。 ・ 利用形態・計画する施設規模を踏まえ、給排水取り出し口を設置すること。 		
什器・備品 (共用備品含む)	品目	仕様（※下記条件を超える仕様の提案は可）	数量	
	机	W1,500×D450×H700mm 程度・幕板付・要台車	2,640 台	
	スタッキングチェア	H800mm 以上・フレーム丸パイプステンレス・横連結・20 脚以上スタッキング可・要キャスター付台車	7,000 脚	
	ポータブルステージ	W2,400×D1,200×H800mm 以上	80 台	
	ステージスカート	—	提案に委ねる	

ステージステップ	W1,000mm 程度	16 台
ステージステップ用手すり	—	4 台
ステージ用ガードレール	—	20 台分
車いす用ステージスロープ	多目的ホール用	1 台
演台	W1,200×D800×H1,100mm 程度	8 台
司会台	W900×D700×H1,100mm 程度	8 台
アルファパネル	W900×H2,100 程度	1,800 枚
丸卓(大)	Φ2,000mm 程度	320 台
花台	W500×D500×H750mm 程度	8 台
金屏風	W4,000×H2,000mm 程度	4 双
ジョーゼット	W10m 程度で、天井高に応じた高さ	2 枚
大黒幕	W10m 程度で、天井高に応じた高さ	2 枚
バトン	W20m 程度(一括利用時用)	2 本
両面ホワイトボード	W1,800×H1,800mm 程度・キャスター付	16 台
両面掲示板	W1,800×H1,800mm 程度・キャスター付	16 台
三折パーテーション	W1,800×H1,800mm 程度	16 台
名刺受	—	8 個
貴名受	—	8 個
ストップウォッチ	—	8 個
卓上時計	—	8 個
卓上ベル	—	8 個
ギャベル	—	1 個
手元灯	—	24 個
賞状盆	A3 サイズ用	8 枚
テーブルクロス	—	792 枚
丸卓用テーブルクロス	—	320 枚
国旗・掲揚台	国旗サイズ W1,800×H1,200mm 程度	71 セット
貸出用消火器	粉末・10 型	50 本
消火器用台車	消火器 15 本程度積載可	5 台
立看板台縦	W980×D700×H2,100mm 程度: (差込看板サイズ(特注)W900×H1,800×t5mm)	4 台
立看板台横	W1,900×D800×H1,700mm 程度: (差込看板サイズ(特注)W1,800×H900×t5mm)	4 台
めくり台	W600mm、高さ可変式	8 台
手押台車	W1,000×D600mm 程度	8 台
天井作業用高所作業車	多目的ホールの天井高に対応可能なもの	1 台

諸室区分	A 多目的ホール		
室名	A-2 ホワイエ		
定員・規模	規模：約 2,000 m ² （多目的ホールと合わせて10,000m ² 以上）		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホールとの一体利用可能なホワイエをホール周囲に配置すること。 ・ 簡易な受付やコーヒープレイク等ができる一定の広さを確保するとともに、休憩用の椅子等を設置すること。 		
性能	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登録受付やもぎり、クロークの設置等ができる機能も備えること。 ・ リラックスした雰囲気となるよう、天井高さ、内装素材、色彩に配慮すること。 ・ 入場時、退場時のスムーズな動線に配慮すること。 ・ 大規模集客施設に適した視認性の高いサインを動線の分岐点等に設置し、利用者のスムーズな移動を支援すること。 ・ 利用状況をモニターするための監視カメラを設置すること。 ・ 一体利用時にホール内の音や案内音声を流すための設備を設置すること。 ・ ホワイエのどのエリアでも利用できるよう、イベント電源盤と臨時電話、LAN、CCTVのアウトレットを適宜設けること。特に登録受付等が設置されると想定される位置には配慮すること。 ・ 床はタイルカーペット仕様とする等メンテナンスのしやすさにも留意すること。 	
什器・備品	品目	仕様（※下記条件を超える仕様の提案は可）	数量
	両面ホワイトボード	W1,800×H1,800mm 程度・キャスター付	10 台
	両面掲示板	W1,800×H1,800mm 程度・キャスター付	10 台
	記名机	W1,500×D600×H950mm 程度	10 台
	展示机	W1,500×D600×H700mm 程度	20 台
	クローク棚	W1,300×D600×H1,400 程度・4 段キャスター付	20 台
	パーテーションロープ	1,200mm 程度	30 本
	パーテーションポール	H800mm 程度	30 本
	枠付サインスタンド	H1,400～2,200mm 程度の可変式： 差込看板サイズ W450×H450×t5mm	10 本
	イーゼル	B1 サイズ対応	10 個
	白板付サインスタンド	H1,400～2,200mm 程度の可変式： 枠サイズ W450×H450mm 程度	10 本
	受付カウンター	W1,500×D600×H1,000mm 程度・キャスター付	6 台

諸室区分	A 多目的ホール		
室名	A-3 多目的ホール利用者向け控室		
定員・規模	定員：10名程度、室数：14室程度		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> 控室 		
主な利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 利用者スタッフ控室 		
性能	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> 主催者及び受付、警備等、それぞれのスタッフが休憩できる広さと機能を備えること。 部屋前にA3サイズを表示を掲示できる機能を有すること。 	
一室あたりの 什器・備品	品目	仕様（※下記条件を超える仕様の提案は可）	数量
	机	W1,500×D600×H700mm 程度	4 台
	スタッキングチェア	H800mm 以上・フレーム丸パイプステンレス・横連結・20脚以上スタッキング可	10 脚
	ソファセット	布張・4人用 1式	1 セット
	卓上鏡	—	1 個
	冷蔵庫	300L 程度	1 台
	テーブルクロス	—	4 枚
	コートハンガーセット	1式	1式
	姿見	W400×H1,500mm 程度・キャスター付	1 台
	液晶モニター	吊下げまたは壁掛け・40インチ程度	1 台
	両面ホワイトボード	W1,800×H1,800mm 程度・キャスター付	1 台
	三つ折りパーテーション	W1,800×H1,800mm 程度	1 台

諸室区分	A 多目的ホール		
室名	A-4 多目的ホール利用者向け控室2		
定員・規模	定員：10名以上、室数：2室程度		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> 控室 		
主な利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 利用者スタッフ控室、警察無線室、消防本部用 部屋前にA3サイズの表示を掲示できる機能を有すること。 		
性能	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> 1室は、警察による警護が必要なイベント時の警護本部用の詰所としても利用できるようにすること。当該室には、警察用無線（県警本部通信用及び配置警察官通信用の2種類の無線）のアンテナ・警備無線補助システムの引込み線、電話線（50回線程度）を確保するとともに、VIP動線付近、かつ一般用動線以外の出入口から容易に屋外に出られる位置に配置すること。 1室は、消防による待機が必要なイベント時の消防本部用の詰所としても利用できるようにすること。 当該室には無線通信補助設備の端子、電話線及び電源を確保するとともに、VIP動線付近、かつ一般用動線以外の出入口から容易に屋外に出られる位置に配置すること。 警察及び消防の詰所としての利用を想定している室の各種配線等の位置及び仕様については、詳細設計を行う際に、神奈川県警及び本市消防局と十分に協議を行うこと。 	
一室あたりの 什器・備品	品目	仕様（※下記条件を超える仕様の提案は可）	数量
	机	W1,500×D600×H700mm 程度	4 台
	スタッキングチェア	H800mm 以上・フレーム丸パイプステンレス・横連結・20脚以上スタッキング可	10 脚
	ソファークロス	布張・4人用 1式	1 セット
	卓上鏡	—	2 個
	冷蔵庫	300L 程度	1 台
	テーブルクロス	—	10 枚
	コートハンガーセット	1式	2 台
	姿見	W400×H1,500mm 程度・キャスター付	2 台
	液晶モニター	吊下げまたは壁掛け・40インチ程度	1 台
	両面ホワイトボード	W1,800×H1,800mm 程度・キャスター付	1 台
	三つ折りパーテーション	W1,800×H1,800mm 程度	1 台

諸室区分	A 多目的ホール		
室名	A-5 出演者用・VIP用控室		
定員・規模	(出演者用) 5名以上×3室、10名以上×1室、20名以上×1室 (VIP用) 100㎡以上×1室(トイレ・給湯室含む)		
施設概要	・ 控室		
性能	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的ホール周辺に、出演者用控室(5室)及びVIP用控室(1室)を設置すること。出演者用控室脇に共用で使用できるトイレ・シャワーブースを1ヶ所設置すること。 ・ VIP用控室は、VIP用の車寄せからの動線及び一般客と分離した動線に配慮するとともに、専用トイレを設置すること。 ・ 部屋前にA3サイズの表示を掲示できる機能を有すること。 	
一室あたりの 什器・備品	品目	仕様(※下記条件を超える仕様の提案は可)	数量
	机	W1,500×D600×H700mm程度	5名以上室:2台 10名以上室:4台 20名以上室:8台
	スタッキングチェア	H800mm以上・フレーム丸パイプステンレス・横連結・20脚以上スタッキング可	5名以上室:5脚 10名以上室:10脚 20名以上室:20脚
	ソファークロソ	布張・4人用1式	VIP用のみ:1セット
	卓上鏡	—	1個
	冷蔵庫	300L程度	1台
	テーブルクロス	—	5名以上室:2枚 10名以上室:4枚 20名以上室:8枚
	コートハンガーセット	1式(VIP用は備付のものとする)	1式
	姿見	W400×H1,500mm程度・キャスター付(VIP用は備付のものとする)	1台
	液晶モニター	吊下げまたは壁掛け・40インチ程度	1台
	両面ホワイトボード	W1,800×H1,800mm程度・キャスター付	VIP用除く:1台
	三つ折りパーテーション	W1,800×H1,800mm程度	1台

諸室区分	A 多目的ホール		
室名	A-6 倉庫		
性能	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的ホール回りの什器備品、音響・照明機材を収納することができる適切な広さの倉庫を確保すること。 ・ 収納する什器備品は、丸卓(大)320台、机(W1500)2,640台、椅子7,00 	

		0脚、ポータブルステージ80台、アルファパネル1,600枚程度を想定するとともに、音響・照明機材が収容可能とすること。
諸室区分	A 多目的ホール	
室名	A-7 パントリー	
定員・規模	規模：500 m ² 程度	
性能	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケータリング基地として、バックヤード側に配置すること。 ・ 保冷器等を設置するのに必要な電源を確保すること。 ・ 給湯が可能とすること。 ・ グリストラップを有する排水設備を設置すること。 ・ シンク、製氷機、冷蔵庫、調理機器用電源および配膳台を設置すること。 ・ 搬出入車両待機場所からパントリー、多目的ホールへ至るスムーズな動線に配慮すること。

諸室区分	B 大会議室									
定員・規模	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>面積</th> <th>天井高</th> <th>部屋数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大会議室</td> <td>300 m²程度※1</td> <td>7m 程度</td> <td>8 室程度</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 隣接する2部屋が統合可能であること</p>		分類	面積	天井高	部屋数	大会議室	300 m ² 程度※1	7m 程度	8 室程度
分類	面積	天井高	部屋数							
大会議室	300 m ² 程度※1	7m 程度	8 室程度							
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議・セミナー・シンポジウムの開催 									
主な利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議・セミナー・シンポジウム：100～300名規模の総会や分科会等 									
性能	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存施設のアネックスホールと一体利用できるように同レベルに配置するなどの配慮を行うこと。 ・ 各部屋の壁面には、仮設機材のケーブル口を設けること。 								
	床性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 床は、タイルカーペット仕様とする等メンテナンスのしやすさにも留意すること。 								
	遮音・音響性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残響時間は、会議や講演会の利用を前提とした設定とすること。 ・ 他室からの透過音は当室に聴こえないレベルまで、他室への透過音は電気拡声による大音量発生の場合に周辺で若干聴こえるレベルまで、それぞれ低減させること。 								
設備	電気設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部屋の規模に応じて壁面もしくは床面に、イベント電源盤・コンセント及び音響・照明・映像・同時通訳装置の出入力設備を備えること。 ・ コンセントの電気回路は分割した部屋毎とすること。 ・ 床面にもコンセントを設置すること。 ・ 照明用電源の容量には充分配慮すること。 ・ 音響・照明・映像・同時通訳装置には別系統の電源を用意すること。 ・ 吊物機構用の電源も複数系統を用意すること。 								

	<ul style="list-style-type: none"> 照明用として、分割した部屋毎に 直回路：30A C 型×2 口、調光回路：20A C 型×6 口 を設けること。
吊物 機構 設備	<ul style="list-style-type: none"> 各部屋については、縦・横両方の利用パターンを想定すること。 各部屋の仮設舞台の設置が想定される箇所の天井部には、イベント時等を想定し幕類や看板用の美術バトン(最低でも 2 本・壁から 900mm セットバック) 及び照明演出等が可能な照明用トラス、音響スピーカー用のトラスを設置し、全て電動昇降式とすること。 照明用のトラスは耐荷重 1t/本以上とすること。 舞台の設置が想定される箇所の天井部には、吊点(耐荷重150kg/点)を必要箇所数設置すること。 吊点は、複数の部屋を一括利用する場合も想定し配置すること。 吊物用として、分割した部屋毎に 直回路：30A C 型×2 口、調光回路：20A C 型×12 口 を設けること。
照明 設備	<ul style="list-style-type: none"> 移動可能な簡易調光卓を各室に設置すること。
情報 通信 設備	<ul style="list-style-type: none"> CCTV システム、臨時電話回線(大会議室：1 室あたり 30 回線程度)を設置すること。 場内放送設備を設置すること。 インターカム等の設備を設置すること。 LAN システム(有線、無線いずれも)を設置すること。 既存施設と一体的に貸出ができる、カードキーによる入退室管理ができる設備とすること。 音響回線は分割した部屋ごとに LAN・アナログ各 2 回線とすること。
映像・ 音響 設備	<ul style="list-style-type: none"> 音響設備、映像用スクリーン(縦横比が 3:4 で天井高に合ったサイズ)を備えること。 音響ワゴンは壁への埋め込み式あるいは取り付け式とすること。 天井スピーカーを一括利用時・分割利用時のどちらでも対応できるように設置すること。 電波式のワイヤレスマイクが利用できるようにすること。 CCTV システムとは別に、隣接会場間で映像・音声を容易に送受信できるようにすること。 国際会議の開催が可能となるようデジタル赤外線方式の同時通訳装置を室内の全エリアで導入できる設備とし、分割しても各室で使用できるようにすること。施設の利用目的に照らし合わせ、常設で 8 か国語のデジタル赤外線方式同時通訳装置を利用できる仕様とすること。仮設備を設置する場合は、最大 32ch まで対応できる環境を整えること。

一室あたりの 什器・備品	品目	仕様 (※下記条件を超える仕様の提案は可)	数量
	机	W1,500×D450×H700mm 程度・幕板付・要台車	99 台
	スタッキングチェア	H800mm 以上・フレーム丸パイプステンレス・横連結・20 脚以上スタッキング可・要キャスター付台車	320 脚
	ポータブルステージ	W2,400×D1,200×H400-600mm	6 台
	ステージスカート	—	提案に委ねる
	ステージステップ	W1,000mm 程度	2 台
	車いす用ステージスロープ	会議室用	1 台
	演台	W1,200×D800×H1,100mm 程度	1 台
	司会台	W900×D700×H1,100mm 程度	1 台
	丸卓(大)	Φ2,000mm	12 台
	花台	W500×D500×H750mm 程度	1 台
	金屏風	W4,000×H2,000mm 程度	大会議室全体で1 双
	両面ホワイトボード	W1,800×H1,800mm 程度・キャスター付	1 台
	両面掲示板	W1,800×H1,800mm 程度・キャスター付	1 台
	三折パーテーション	W1,800×H1,800mm 程度	2 台
	名刺受	—	1 個
	貴名受	—	1 個
	ストップウォッチ	—	1 個
	卓上時計	—	1 個
	卓上ベル	—	1 個
	ギャベル	—	1 個
	手元灯	—	3 個
	賞状盆	A3 サイズ用	1 個
	テーブルクロス	—	30 枚
	丸卓用テーブルクロス	—	12 枚
	立看板台縦	W980×D700×H2,100mm 程度: (差込看板サイズ(特注)W900×H1,800×t5mm)	大会議室全体で1 台
	めくり台	W600mm、高さ可変式	大会議室全体で1 台
	手押台車	W1,000×D600mm 程度	1 台

諸室区分	B 中会議室											
定員・規模	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>面積</th> <th>天井高</th> <th>部屋数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中会議室</td> <td>250 m²程度※²</td> <td>5m 程度</td> <td>10 室程度</td> </tr> </tbody> </table>				分類	面積	天井高	部屋数	中会議室	250 m ² 程度※ ²	5m 程度	10 室程度
	分類	面積	天井高	部屋数								
	中会議室	250 m ² 程度※ ²	5m 程度	10 室程度								
※ ² 各室を2部屋に分割可能であること												
施設概要	・ 会議・セミナー・シンポジウムの開催											
主な利用イメー	・ 会議・セミナー・シンポジウム：100～250名規模の総会や分科会等											

ジ		
性能	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設のアネックスホールと一体利用できるように同レベルに配置するなどの配慮を行うこと。 各部屋の壁面には、仮設機材のケーブル口を設けること。
	床性能	<ul style="list-style-type: none"> 床は、タイルカーペット仕様とする等メンテナンスのしやすさにも留意すること。
	遮音・音響性能	<ul style="list-style-type: none"> 残響時間は、会議や講演会の利用を前提とした設定とすること。 他室からの透過音は当室に聴こえないレベルまで、他室への透過音は電気拡声による大音量発生の場合に周辺で若干聴こえるレベルまで、それぞれ低減させること。
設備	電気設備	<ul style="list-style-type: none"> 部屋の規模に応じて壁面もしくは床面に、イベント電源盤・コンセント及び音響・照明・映像・同時通訳装置の出入力設備を備えること。 コンセントの電気回路は分割した部屋毎とすること。 床面にもコンセントを設置すること。 照明用電源の容量には充分配慮すること。 音響・照明・映像・同時通訳装置には別系統の電源を用意すること。 吊物機構用の電源も複数系統を用意すること。 照明用として、分割した部屋毎に 直回路：30A C型×2口、調光回路：20A C型×6口 を設けること。
	吊物機構設備	<ul style="list-style-type: none"> 各部屋については、縦・横両方の利用パターンを想定すること。 各部屋の仮設舞台の設置が想定される箇所の天井部には、イベント時等を想定し幕類や看板用の美術バトン及び照明演出等が可能な照明用トラス音響スピーカー用のトラスを設置し、全て電動昇降式とすること。 照明用のトラスは耐荷重1t/本以上とすること。 舞台の設置が想定される箇所の天井部には、吊点（耐荷重150kg/点）を必要箇所数設置すること。 吊点は、複数の部屋を一括利用する場合も想定し配置すること。 吊物用として、分割した部屋毎に 直回路：30A C型×2口、調光回路：20A C型×12口 を設けること。
	照明設備	<ul style="list-style-type: none"> 移動可能な簡易調光卓を各室に設置すること。
	情報通信設備	<ul style="list-style-type: none"> CCTV システム、臨時電話回線（中会議室：1室あたり5回線程度）を設置すること。 場内放送設備を設置すること。 インターカム等の設備を設置すること。 LAN システム（有線、無線いずれも）を設置すること。

		<ul style="list-style-type: none"> 既存施設と一体的に貸出ができる、カードキーによる入退室管理ができる設備とすること。 音響回線は分割した部屋ごとにLAN・アナログ各2回線とすること。 	
	映像・音響設備	<ul style="list-style-type: none"> 音響設備、映像用スクリーン（縦横比が3:4で天井高に合ったサイズ）を備えること。 音響ワゴンは壁への埋め込み式とすること。 天井スピーカーを一括利用時・分割利用時のどちらでも対応できるように設置すること。 赤外線方式のワイヤレスマイクが利用できるようにすること。 CCTV システムとは別に、隣接会場間で映像・音声を容易に送受信できるようにすること。 各会議室には、回線等の同時通訳装置を利用できる環境を備えること。 	
一室あたりの 什器・備品	品目	仕様（※下記条件を超える仕様の提案は可）	数量
	机	W1,500×D450×H700mm 程度・幕板付・要台車	66 台
	スタッキングチェア	H800mm 以上・フレーム丸パイプステンレス・横連結・20 脚以上スタッキング可・要キャスター付台車	240 脚
	ポータブルステージ	W2,400×D1,200×H400-600mm	6 台
	ステージスカート	—	提案に委ねる
	ステージステップ	W1,000mm 程度	2 台
	演台	W1,200×D800×H1,100mm 程度	1 台
	司会台	W900×D700×H1,100mm 程度	1 台
	丸卓(大)	Φ2,000mm	8 台
	花台	W500×D500×H750mm 程度	1 台
	金屏風	W4,000×H2,000mm 程度	中会議室全体で1 双
	両面ホワイトボード	W1,800×H1,800mm 程度・キャスター付	1 台
	両面掲示板	W1,800×H1,800mm 程度・キャスター付	1 台
	三折パーテーション	W1,800×H1,800mm 程度	2 台
	ソファークッション	1 式	中会議室全体で1 セット
	名刺受	—	1 個
	ストップウォッチ	—	1 個
	卓上時計	—	1 個
	卓上ベル	—	1 個
	ギャベル	—	1 個
	手元灯	—	3 個
	賞状盆	A3 サイズ用	1 個
	テーブルクロス	—	20 枚
	丸卓用テーブルクロス	—	8 枚
	立看板台縦	W980×D700×H2,100mm 程度： (差込看板サイズ(特注) W900×H1,800×t5mm)	中会議室全体で1 台

	机上プレート大	台紙サイズ W420×H105mm 程度	中会議室全体 で 35 個
	机上プレート小	台紙サイズ W300×H100mm 程度	中会議室全体 で 40 個
	めくり台	W600mm、高さ可変式	中会議室全体 で 1 台
	手押台車	W1,000×D600mm 程度	1 台

諸室区分	B 小会議室											
定員・規模	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>面積</th> <th>天井高</th> <th>部屋数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小会議室</td> <td>100 m²程度</td> <td>3m 程度</td> <td>12 室程度</td> </tr> </tbody> </table>				分類	面積	天井高	部屋数	小会議室	100 m ² 程度	3m 程度	12 室程度
分類	面積	天井高	部屋数									
小会議室	100 m ² 程度	3m 程度	12 室程度									
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議・セミナー・シンポジウムの開催、控室 											
主な利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分科会・控室（事務局室）：1 室あたりシアター形式で 80 名程度の会議 											
性能	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存施設のアネックスホールと一体利用できるように同レベルに配置するなどの配慮を行うこと。 										
	床性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 床は、タイルカーペット仕様とする等メンテナンスのしやすさにも留意すること。 										
	遮音・音響性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残響時間は、会議や講演会の利用を前提とした設定とすること。 ・ 他室からの透過音は暗騒音にまぎれて聴こえないレベルまで、他室への透過音は電気拡声による大音量発生の場合に周辺で若干聴こえるレベルまで、それぞれ低減させること。 										
設備	電気設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部屋の規模に応じて壁面もしくは床面に、イベント電源盤・コンセント及び音響・照明・映像・同時通訳装置の出入力設備を備えること。 ・ コンセントの電気回路は分割した部屋毎とすること。 ・ 床面にもコンセントを設置すること。 										
	吊物機構設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吊看板用のピクチャーレールを設けること。 										
	情報通信設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ CCTV システム、臨時電話回線（小会議室：1 室あたり 5 回線程度）を設置すること。 ・ 場内放送設備を設置すること。 ・ インターカム等の設備を設置すること。 ・ LAN システム（有線、無線いずれも）を設置すること。 ・ 既存施設と一体的に貸出ができる、カードキーによる入退室管理ができる設備とすること。 										
	映像・	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音響設備、映像用スクリーン（縦横比が 3:4 で天井高に合ったサイズ）を 										

	音響設備	<p>備えること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 音響ワゴンは壁への埋め込み式とすること。 天井スピーカーを設置すること。 赤外線方式のワイヤレスマイクが利用できるようにすること。 各会議室には、回線等の同時通訳装置を利用できる環境を備えること。 プロジェクタを設置するための台が天井より降下してくるようにすること。なお、台には映像の接続端子・電源を設けること。 		
一室あたりの 什器・備品 (共用備品含む)	品目	仕様 (※下記条件を超える仕様の提案は可)	数量	
	机	W1,500×D450×H700mm 程度・幕板付・要台車	30 台	
	スタッキングチェア	H800mm 以上・フレーム丸パイプステンレス・横連結・積置可・要キャスター付台車	80 脚	
	演台(小)	W700×D500×H1,000mm 程度	1 台	
	司会台(小)	W600×D500×H1,000mm 程度	1 台	
	両面ホワイトボード	W1,800×H1,800mm 程度・キャスター付	1 台	
	両面掲示板	W1,800×H1,800mm 程度・キャスター付	1 台	
	三折パーテーション	W1,800×H1,800mm 程度	2 台	
	テーブルクロス	—	9 枚	
	コートハンガーセット	—	1 台	
机上プレート(小)	台紙サイズ W300×H100mm 程度	小会議室 全体で 40 個		

諸室区分	B 会議室		
室名	B-2 ホワイエ		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> 簡易な受付やコーヒブレイク等ができる一定の広さを確保するとともに、休憩用の椅子等を設置すること。 		
性能	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> クロック、入場管理（もぎり）の設置を可能とすること。 各会議室のサービス動線にも配慮すること。 リラックスした雰囲気となるよう、天井高さ、内装素材、色彩に配慮すること。 ホワイエのどのエリアでも利用できるよう、イベント電源盤と臨時電話、LAN、CCTVのアウトレットを適宜設けること。 床はタイルカーペット仕様とする等メンテナンスのしやすさにも留意すること。 	
各階あたりの 什器・備品	品目	仕様 (※下記条件を超える仕様の提案は可)	数量
	両面ホワイトボード	W1,800×H1,800mm 程度・キャスター付	30 台
	両面掲示板	W1,800×H1,800mm 程度・キャスター付	30 台
	記名机	W1,500×D600×H950mm 程度	30 台
	展示机	W1,500×D600×H700mm 程度	60 台
クロック棚	W1,300×D600×H1,400 程度・4 段キャスター付	60 台	

	パーテーションロープ	1,200mm 程度	90 本
	パーテーションポール	H800mm 程度	90 本
	枠付サインスタンド	H1,400～2,200mm 程度の可変式: 差込看板 サイズ W450×H450×t5mm	30 本
	白板付サインスタンド	H1,400～2,200mm 程度の可変式: 枠サイズ W450×H450mm 程度	30 本
	受付カウンター	W1,500×D600×H1,000mm 程度・キャスター付	18 台

諸室区分		B 会議室
室名		B-3 倉庫
性能	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議室のあるフロアごとに設置すること。 ・ 会議室・ホワイエの什器備品、音響・照明機材を収納することができる適切な広さの倉庫を確保すること。（各階の備品の8割程度を収納できることを目安とする。）

諸室区分		B 会議室
室名		B-4 パントリー
性能	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議室のあるフロアごとに設置すること。 ・ 給湯設備を設けること。 ・ シンク、製氷機を設置すること。